

聖愛

六月号

原町聖愛保育園

二〇〇八年六月二日発行



先日種子を蒔いた野菜も次々と芽を出し始めました。「早く大きくならないかな?」「虫さん、葉っぱ食べちゃったんじゃない?」と、じーっと見る子どもたち。苗植えをした後も気にかけて、お世話を率先してやってくれます。毎日、作物の生長を心待ちにしているようです。

「ごめんなさい」

ファミリークラスの男の子が、遊び時間にしよげた顔で立ち尽くしていました。保育者に「どうしたの?」と聞かれても、何も言わずそのままです。また三歳の女の子三・四人は絵本を見ていましたが、突然、一人の子が困った顔で「ごめんねえ ごめんねえ」と言い出しました。言われている子は少し離れて絵本を見続けています。それでも謝り続けていた子はついに、「ごめんねは?」と逆に相手に謝りのことばを求めました。言われた子は何度目か「ごめん」と言いながら友だちに擦り寄り、その瞬間言ってもらった子は微笑んで、二人ともニコッと顔を見合わせて一緒に絵本を見始めました。

謝罪は機会を逃すとしにくくなり、言わぬままではなお気持ちが塞ぎ、重苦しい気持ちをいつまでも引きずって、楽しいことも心から楽しむことが出来ません。お父さんやお母さんは経験ありませんか? 私は経験あります。

自分の手で、自分の頭を押さえてお辞儀する、ほほえましい「ごめんなさい」。言葉がまだ言えない小さい子の謝罪です。きつとこれまでに、頭を押さされてごめんなさい(お辞儀)を促されたことがあったのでしょうか。でも今はこんな姿も見られません。大人は自分も子どもも、はじめからトラブルにならないように、避ける、関わらないなど、相手に謝罪するようなことが起こらないようにしようと思えますから、子どもも経験しないのです。

人間は意識する・しないにかかわらず、謝罪しなければならないことをしてしまいます。万が一そのようなことが起きてしまったときは、素直に謝れると、自分の心の荷は軽くなり、相手から「いいよ」と言ってもらえたらさらに軽くなって、やがて心のわだかまりは消えてなくなります。

大人も子どもも、どちらの立場になっても、自分から「ごめんなさい」「いいよ」と、素直に言える者でありたいですね。

園長 遠藤美保子

主題『ふれる』(年少)

暗唱聖句「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日はあなたの家に泊まりたい」

6月の保育目標

『自分らしく』(ファミリー)

ルカによる福音書19章5節

| 年齢 | 保育目標 | 保育内容 | 保育者の配慮 |
|------------|----------------------|---|--|
| てんし 0歳児 | 保育者と共に体を動かし、心地よく過ごす。 | ・外気浴(天候に合わせて) ・新聞を使って音遊び ・腹ばい、ハイハイ、伝い歩き ・保育者とふれ合い遊び・歌 | ・一人ひとり自ら動きたい、触ってみたいという思いを大切に、運動、感触遊びに誘いかける。また同時に安全、衛生面に気をつける。 ・気温や温度差に応じて、衣服や寝具の調節をして、心地よく過ごせるようにする。 |
| つぼみ 1歳児 | 外で体を動かし探索を楽しむ。 | ・散歩(坂道、草むら) ・段ボール遊び ・裸足で砂遊び(登り降り、川作り) ・ボール遊び(追いかける) | ・体を動かすことが気持ちよく感じられるように、保育者が率先してやってみせたり、探索を楽しむなど、働きかける。 ・見つけて関心を持ったものにふれる経験を大切にし、一緒に発見を喜んだり、ふれたり、探索できるよう配慮する。 |
| はな 2歳児 | 様々な感触を楽しむ。 | ・散歩(草花や虫を見つけ、触れる) ・粘土、小麦粘土、スライム ・体を動かす(登る・跳ぶなど) | ・遊びの中で“やってみよう”と思う気持ちを大切に、実際に見たり触れたり試したりする機会を作り、様々な素材に触れられるようにする。 ・体を動かす楽しさを味わえるように、時間や場所など考慮する。 |
| ファミリークラス | 3歳児 | (室内) ・豆腐作り ・デカルコマニー ・にじみ絵(絵筆を使って) ・コンテ ・機織り(平織り、丸織り) | ・自分でやってみようとしたり、生活や遊びの中で真似てみようとする気持ちを受け止める。 ・友だちとの関わりで自分の思いやしたいこと、してほしいことを言葉で表せるよう、足りないところや困っているところを保育者が補い、促す。 |
| | 4歳児 | (戸外) ・こぶこぶ山を登る ・鬼ごっこ ・立ち幅跳び(年齢に合わせて) ・太鼓橋(真ん中で立つ) ・裸足で遊ぶ | ・子どもの疑問や冒険心、気付きを大切に、生き生きとした活動が展開できるように、配慮する。 ・子ども同士の模倣や認め合いを大切にしながら表現する意欲や創造性を育てるように配慮する。 ・生活の中で、気付いたことを自分で行動に移したり、工夫したりできるように見守る。 |
| | 5歳児 | (つき組) ・鼓笛隊 | ・自分で目標を決め、取り組んだことを喜び、更に次の目標が立てられるよう援助する。 ・一つひとつ自分で手順や数を考えて行えるように、保育者も一緒に確認をしながら正しく伝える。また責任を持って取り組めるよう活動の大切さを伝える。 |



◎ 6月の予定◎

| 日付 | 園の行事 | 職員の予定 |
|-------|----------------------------------|---|
| 3(火) | 合同礼拝 | 聖書研究「めぐみの会」 |
| 4(水) | 子育てサークル(レインボーG) | 職員会議 |
| 5(木) | 小人さんの音楽会 | |
| 7(土) | | 福島県保育研究大会 |
| 9(月) | 久米本先生 来園 | |
| 10(火) | 花の日子どもの日、長寿荘訪問 | |
| 11(水) | 歯科検診 子育てサークル(プーさんG) | 企画会議 |
| 12(木) | ポップコーン(クラブ活動) | 構造化会議 |
| 13(金) | 保育参観・講話 | |
| 16(月) | しゃりん梅訪問 | |
| 17(火) | 食育体験・豆腐作り(ひかり) | 聖書研究「タラントの会」 |
| 18(水) | 食育体験・豆腐作り(みず) 子育てサークル(レインボーG) | マネージャー会議 |
| 19(木) | 小人さんの音楽会 |  |
| 20(金) | 食育体験・豆腐作り(かぜ) 健康診断(全クラス) | |
| 23(月) | お弁当の日 | |
| 24(火) | 避難訓練 | 園内研修 |
| 25(水) | しゃりん梅訪問 子育てサークル(プーさんG) | 給食会議 |
| 26(木) | ポップコーン(クラブ活動) | |
| 28(土) | | キリスト教保育新人研修 |
| 30(火) | 久米本先生 来園 | |

保育参観・講話/栄養士

◆日時 6月13日(金) ◆対象 全保護者
 保育参観→ 9:00~10:30 各クラス
 講話→ 10:30~11:30 ホール 全保護者

「家族の食事を一緒に考えてみましょう」



保育参観での子どもたちの様子で見ていただきたいことや、各クラスの保育のねらいや活動内容については、クラス便りでお知らせします。

講話では、離乳期から成人期までの食事のあり方や大切さを考えます。みんなで健康な生活を送ることを目指しましょう。

食育体験「豆腐作り」ファミリークラス 6/17(月)・18(火)20(金)

昨年度に引き続き、子どもたちが豆腐作りをします。今回は、ファミリークラス3クラスが1日ずつに分かれて作業し、その日のうちに給食で食べます。大豆→おから→豆腐になる様子を実際に見たり、触れたり、匂いをかいだり、感じながら手作りの温かさや大変さ、作ったことでの満足感や達成感を味わいます。



元気な体を…<歯科検診、内科検診>

日時: 6月11日(水) 10:30~歯科検診
 6月20日(金) 12:30~内科検診
 対象児: 全員



結果は、実施後個別にお知らせします。ご家庭でも健康管理のための予防を色々工夫されていると思いますが、同じように大切なのは、「生活リズム」です。朝起きる時間と、夜寝る時間を決め、三度の食事をきちんと摂ることが大切です。結果は今すぐに目に見えてくるものではありませんが、生きる力の土台となりますので、継続し、習慣化することが大切です。

6月の主題 「触れる」(0.12歳児) 「自分らしく」(3.45歳児)

人は人生のはじめのほぼ三年間をかけて、「自分」を作っていくとされています。



人との関わりや自然の中で様々なものに「ふれる」ことは、感情が芽生えたり、五感を使って感じるがたくさんあります。

園では、園外に出掛け、草花や虫、木や川などの自然にふれることを大切にしています。年齢が小さい子どもでも、周りの様子や変化に気づいていることが多くあります。この芽生えを大切に育てたいと思います。

3.45歳児の「自分らしく」は、一人ひとりが安心して自分の気持ちを、相手に伝え、また相手の気持ちにも気づいて、互いに心を通わせ合う経験をしてほしいと願っています。

ファミリークラスでは、生活クラスの異年齢児との関わりの中で、相手を思いやり、譲ったり、教えるといった姿も少しずつ見られるようになってきました。

人との関わりを通して、思いやりや優しい気持ちを持ち、力を合わせたり、助け合って生きるということを子どもたちに伝えたいと思います。

普通救急救命講習会をしました。 5/15・23

心肺蘇生法とAEDを使つての救命処置を、計3時間学びました。心肺停止の方を発見したら… 処置が必要な方を見つけたら… 動かさずに見守るだけではなく、

- ①まずは、安全な場所に移動させる。
- ②心臓マッサージが必要か、人工呼吸は必要かを判断する。
- ③AEDもしくは、心臓マッサージを行う。

東北地方では、倒れている人を見たら、「動かしてはいけない」と思って、救急車が来るのを待っている傾向があるそうです。

救急車を待つ間、その場にいる人たちが力を合わせ、人工呼吸や心臓マッサージ、また回復体位を取る、安全な場所へ移動させる、といった処置が必要です。

“一人の勇気が、その人の命を救います。”と消防士の方からアドバイスを頂きました。

今回都合で受講されなかった方は、来年度ぜひ受講して下さい。

保育園では、AED(自動体外式除細動器)を備えています。

自然を守ろう 

今年度の年間保育テーマは「海と空」です。自然を守るのは、私たち人間です。(が、汚すのも壊すのも人間です。)

保育園の近くの本陣山には、バイクや自転車、大きな家電製品までもが捨てられています。また日常生活で出されるゴミで、自然(海、川、山)が汚されています。その光景を見るたびに、年々捨てられているゴミの数は多くなってきているのではないかと考えさせられます。

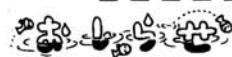
園外保育の際、「ゴミあったよ」と子どもたちは気付いて、進んでゴミを拾っています。私たち大人もこのことを真剣に受け止め、ゴミを出さない工夫をしなければなりません。

自然を守り、きれいに保つためには、一人一人が心にとめて意識して実行しなければ、きれいな自然は守れず、汚されたところはそのまま変わりません。

今年度も一年間を通して、近くの海や川に出掛け、ゴミ拾いをしたいと考えています。

今回は、昨年度3月に行なった「萱浜海岸(原町区)でゴミ拾いをします。

6月22日(日) 1時~2時30分
 ぜひ子どもたちと一緒にご参加下さい。



- 1、6月1日から衣替えです。夏の制服取り扱い店:「まめや」(南町) 着替え用の衣類を夏物に交換して下さい。その際、名前のご記入の確認をお願い致します。